

科目	保健	単位数	1	履修学年・クラス（講座）	1年商業・普通科
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店・保体701）				
補助教材等	現代高等保健体育ノートまたは授業担当者が作成したプリント及び資料				

1 学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

○授業中は、電子黒板と板書を活用し、画像や動画を見ながら視覚的に理解しやすいように工夫する。

○グループワークを通して、健康についての自他や社会の課題を発見したり、考えたりしながら仲間と一緒に学びを深めていく授業を行う。

○ICT機器（chromebook等）を活用し、生徒主体の授業を展開するとともに、生涯を通じて健康でよりよく生きていくためにどうすべきなのかを考えたり、理解を深めたりしていく授業を行う。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	・生涯を通じて自他の健康の保持増進を図るためや課題解決を図るために必要な知識を理解している	・自他や社会の課題解決に向けて、学んだ知識を活用し考え、自分なりの答えを持つことができる。 ・自己の考えたことを仲間と共有し学びを深めることができる。	・生涯を通じて自他の健康の保持増進のために積極的に学びに取り組もうとしている。
主な評価方法	・学期ごとのペーパーテスト ・単元ごとのレポートにおける一般的な知識の理解度・習熟度	・学期ごとのペーパーテストまたは単元ごとに配布されるレポートにおいて、健康に関する課題解決に向けて自分の考えを記述しているか ・授業におけるグループでの話し合い・発表・プレゼンに向けてスライドの制作 等	・保健ノート ・授業中の発言

4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時数	学習内容	評価規準		
4	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康の姿	10	健康の考え方やわが国の健康水準が変化していること及びその背景について理解し、これからの自分の健康について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の死亡率，受療率，平均寿命，健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について，理解したことを言ったり書いたりしている。(a) 健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。(b) 健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。(c) 		
5	生活習慣病の予防と回復		生活習慣病とがんの原因について理解する。また，予防をしていくためには若いころからの運動や食事，睡眠などの個人的対策が必要であること及びがん検診などの社会的な対策を積極的に活用していくことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病などの予防と回復には，個人の見直しとともに，健康診断やがん検診の普及，正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。(a) 生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。(b) 		
6	がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康					
7	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康		15	喫煙や飲酒の身体への影響を理解すること。また薬物の心身の健康に悪影響をもたらすことを理解する。それぞれの対策について，個人及び社会に分けて説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。(a) 薬物乱用を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ，及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。(a) 喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。(b) 	
8						
9	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復				現代社会において，増加している精神疾患の特徴や課題を理解し，予防の観点から自身の実生活に活かす。	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患は，精神機能の基盤となる心理的，生物的，または社会的な機能の障害などが原因となり，認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になった状態であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。(a) 精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。(b)
10						

11	<p>現代の感染症</p> <p>感染症の予防</p> <p>性感染症・エイズとその予防</p>	<p>感染症の歴史から、今後の感染症との共存を探る。また、感染症を防ぐためには、感染経路を理解したうえで予防策を考えていく。</p> <p>性感染症やエイズにおいて、高校生の段階でも感染する恐れがあることから、原因及び予防について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症のリスクを軽減し予防するには、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のため対策について理解したことを言ったり書いたりしている。(a) ・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述し
12	<p>事故の現状と発生要因</p> <p>安全な社会の形成</p> <p>交通における安全</p> <p>1</p> <p>応急手当とその基本</p> <p>2</p> <p>日常的な応急手当</p> <p>心肺蘇生法</p> <p>健康に関する意思決定・行動選択</p> <p>健康に関する環境づくり</p>	<p>わが国の交通事故の現状と発生要因を理解する。また、交通事故を未然に防ぐために、個人や社会全体で安全への配慮を心掛けていく必要があることを理解する。</p> <p>10</p> <p>わが国の、心肺停止からの生存率は諸外国に比べて低く、その要因としては応急手当や心肺蘇生法等の仕方が理解できていない現状である。そのため、講義と実技を交えながら応急手当や心肺蘇生法の仕方を身につける。</p> <p>ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの特徴について説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。(b) ・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。© ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。(b) ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。(b) ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。(b)